



平成 17 年 11 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社ティー・ワイ・オー
代 表 者 名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者
吉田 博昭
(J A S D A Q ・ コード番号 : 4358)
問 い 合 せ 先 取締役兼グループ執行役員
飯田 浩一
電 話 番 号 03-5434-1586

モーションキャプチャスタジオ開設に関するお知らせ

当社は、当社のグループ会社である株式会社デジタル・フロンティア（本社 東京都目黒区、代表取締役 植木英則、以下デジタル・フロンティア）が、2005年12月に新たなモーションキャプチャスタジオの開設を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 新モーションキャプチャーセンター開設の趣旨

昨今、映画・ドラマ・ゲームなど、様々な映像メディアには、CG（コンピュータ・グラフィックス）（注1）が多様に活用されており、今後これらの映像メディアは、視聴環境の向上により、よりハイクオリティな映像が求められます。そのため、より高品質で臨場感あるCGもまた求められております。高品質なCGを製作する技術のひとつに、モーションキャプチャー（注2）が、リアルな表現を行う有効な技術として活用されております。

従来のモーションキャプチャーは、アナログカメラを利用している為に精度にブレがあり、キャプチャー後から納品迄の処理作業に膨大な時間を必要としておりました。

今回開設するモーションキャプチャスタジオでは、デジタルカメラを多数用意している為にアナログカメラでは出来なかった高精度のキャプチャーが可能となり、このことで、処理作業の大幅な短縮とそれに伴う製作費用の圧縮が望めます。これにより、お客様の高品質なCGへの対応において、他社との大幅な差別化が図れると期待しております。

また、十分な規模のスタジオを用意することで、活動的な映像の撮影への対応が可能となります。

より広く、より早く、より精度よくをコンセプトにした当スタジオは、アジア最大であるとともに世界でも4番目の規模となります。

2. 新モーションキャプチャスタジオの概要

1. 名称 :「デジタル・フロンティア お台場パフォーマンスキャプチャースタジオ」
2. 所在地 : 東京都江東区青海二丁目 31 番 2 号 青海流通センター 1 号棟 3 階
3. 床面積 : 約 200 坪
4. 撮影可能面積 : 10m × 15m × 4.5m (約 45 坪)
5. 使用機材 : Vicon Motion Systems 社製 MX40 × 60 台
6. 完成予定 : 2005 年 12 月

3. 業績に与える影響

本スタジオの完成により、映画・ゲーム・アニメ・ドラマ等、様々なジャンルからの制作依頼があると予想しております。

連結上の業績の影響は軽微であり、また、既に発表している業績予想に含まれているため、本件に伴う業績予想の修正がございません。

なお、中期計画に関しても本件を考慮した計画となっており、本件に伴う計画の修正はございません。

注1 CG (コンピュータ・グラフィックス) :
コンピュータを利用して画像を処理・作成する技術をさします。

注2 モーションキャプチャー :
実際の演技等の様々な動き (モーション) を、カメラを通してコンピュータに取り込む (キャプチャー) 技術。実際の演技などの動きを取り組む為、リアルな動きを表現することができます。

以上